

自然教育園の「植生管理はしない」
……ってなんでだよ!

非公開地域



こんばんは
自然教育園職員下田です
近頃どうもこんな感じの
悪夢を見てるつぱいです
でも起きると忘れちゃうんだよ……

虫助
助けて
虫が
虫

僕たちを
見殺しに

お願
助けて
お願へ

早
医者
世主を
連れてしまふ

怖
知らない
うつづ
よなよ
う

ちっす。

おいらはヒヨドリのヒヨ。

ここは東京都港区

白金台上空

ガールフレンドに

会いに来たんだ。

「シゼンキョウイクエン」って
ところに住んでてさ、

タチツボスミレの

妖精なんだ。

かわいい女の子だよ

なんかすごいよね。

こんなビルとか道路だらけの中に、
いきなりでっかい森が現れるんだ。
まるで緑の島だね

こっちの人間が

いっぱいいる方じやなくてさ、

もつとずっと奥の方……

あつ！いたいた！

おーい！
タチツボちゃーん！



自然教育園のおいたち

古代

縄文中期、
この地に人が住みつく

豪族白金長者が
館を構えたといわれる

室町時代
高松藩主松平譲岐守

江戸時代
頼重の下屋敷

明治時代
海軍省・陸軍省の
火薬庫

大正時代
宮内省の
白金御料地

昭和時代
国の大天然記念物及び
史跡に指定

昭和24年
(1949)
昭和34年
(1959)

昭和42年
(1967)
昭和53年
(1978)

昭和37年
(1962)

昭和49年
(1974)

昭和59年
(1978)

昭和62年
(1987)

昭和67年
(1992)

昭和72年
(1997)

昭和78年
(2003)

昭和83年
(2008)

昭和88年
(2013)

昭和93年
(2018)

令和元年
(2019)

平成16年
(2004)

平成21年
(2009)

平成26年
(2014)

台風で樹齢約三百年の
「おろちの松」が倒伏

園内の3つの池を浚渫。
※ 浚渫

外来魚を駆除

ヒヨ！

完成間近の巣を
ハシブトガラスの集団に
めちゃくちゃにされたり、
留守中にハクビシンに
びっしり糞されたり!!
俺が何したって言うんだ!!
by オオタカ

わしがついうっかり
昼間に姿を現して、
来園者に撮られて
しもうた写真、見る?
by フクロウ



今日は大好物の
鳥の卵とヒナを
頂きに来ました～♡
by アオダイショウ

開園して間もなく、
高速道路ができる、
私たちは道路をまたいで
「なわばり」を作れなかつたらしいの。
でも今は慣れだし、道路をまたいで
「なわばり」作っちゃうわよ!
by シジュウカラ

タチツボちゃんって
いくつなんだろう?

何それ、
カッコいい!
調査して、
研究するの

我々の種類の変遷が
約半世紀にわたり
調べられてる場所って、
日本ではここ以外
ほとんどないらしいのだ
by コケ

昔は、お殿さまの
お屋敷だったたのよ。
大きな木は当時の庭木
だったんじやないかしら。
その前は知らないわ。
自然教育園になつたのは
75年くらい前ね

「非公開」
なんかちょっと
ワクワクする



そういうえば
ここにもたまに
人来るけど、
あれは何を
やってるんだろう

ここは静かだね。
どうしてこっちには
人間が来ないんだろう。
昔はこの辺にも来てたわよ。
50年くらい前かな、
ほんの一部をお客さんに公開して、
あとの残りは非公開にしたの。
ここは「自然保護地域」って
いうんですって。

別名「非公開地域」

わたくしの糞の中から
珍しいケカビ類の菌類が
見つかったんです～(喜)
by タヌキ

ここはボクたちの
貴重な生息地なんだよ。
この森がなくなったらどうしょ～。
by ニッポンマイマイ

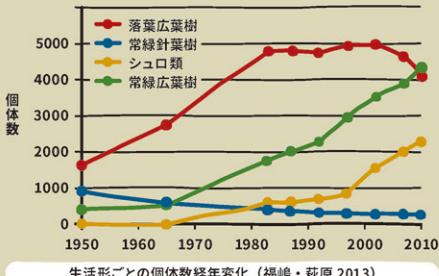
ミズキが一斉に枯れた時
チャンスとばかりに
大発生しちゃった♡
by ホソカタムシ

毎木調査

開園以来、5~10年単位で、胸高周回長30cm以上のすべての樹木について種類、位置、幹周りを調査している。

樹木の移り変わり (1950~2010年)

1950年には2970本だった樹木が、2010年には約10000本と3.7倍に。この60年で森が鬱蒼としてきたことが分かる。常緑針葉樹が減少し、常緑広葉樹・シユロ類が激増している。落葉広葉樹は1980年代までは増加したが、その後は横這いとなり、2004年からキアシドクガの大発生でミズキが大量枯死したため下降している。



シユロの異常繁殖

1950年から1965年頃まで、ほとんど見られなかつたシユロが、その後温暖化などの影響で冬が暖かくなり土壤が凍らなくなったことにより急増。

2010年には2324本と、異常なまでに繁殖している。



出来
花を咲
来年、私は
出来るか
なことが

ここは一年中
葉っぱが生い茂る、
常緑樹メインの暗い森。
暗い場所が苦手な私には
よいよ厳しい



カラスのねぐら調査

都市鳥研究会によるカラスのねぐら調査。2000年頃急増し(5163個体)、2021年の調査では激減(25個体)していることがわかった。急増の原因は餌となる生ゴミの増加、減少の原因是、ゴミを覆うゴミステーションの普及やゴミ収集を深夜に行うなどの、東京都の近年のカラス対策の成果と考えられる。



ナガサキアゲハ (オス)



ツマグロヒョウモン (メス)

チョウの調査

1950年以降、チョウの種類を継続的に調査。近年は温暖化などの影響で北上した種類もいることがわかった。

アカボシゴマダラ

中国大陸原産と考えられる。人為的に持ち込まれた特定外来生物。南関東を中心に定着



生物相調査

ある地域に生息・生育する生物を記録。
都心の生態系の変化を把握する上で貴重な情報となる。
最近の調査(2016~2018年)でのTOPICSを紹介!

LOVE
自然教育園では、
絶滅危惧種、
珍しい生物など、
様々な調査が
継続して
行われてきたの。

蝶形類



調査ではキシノウエトタテグモ、ドウシグモ、コアシダカグモなど、絶滅が危惧される種が確認された。いずれも、良好な森林環境に生息するクモ。

新たに記録された
ドウシグモ

こんなに
新しい
発見がある
の?
すごい!
かれいな
方がいる
うん。でも
細かい
もう少し
長くない?
ヒヨドリって
ねえ
かわいいじ
やん?

たまに
現れます

哺乳類



捕獲調査のほか、赤外線センサーによる撮影調査も行った。何かが横切るとセンサーが反応して撮影される。警戒心が強く、夜行性の多い哺乳類には有効。

センサーに
映ったタヌキ

良俣
臺灣って…
にとつては
よ

菌類および 菌類様生物



日本ではここで初めてといふ種類がいくつも発見され、菌に寄生する不思議な新種の「菌」も見つかった。「シラタマタケ」がボタンタケ属に寄生され、非常に珍しい例である。

寄生された
シラタマタケ

白金の
アイドル!

新種!

貝類



国内移入種のアズキガイ。
過去の調査でも局的に確認されていたが、最近の調査で、園内全域で蔓延し、他の微小な貝類が減少傾向となっていることがわかった。

倒木の下に群生する
アズキガイ

東京の空氣
きれいな
気持ち

地衣類



大気汚染の影響を受けやすい葉状地衣類が多く確認された。都内の大気汚染の改善に伴い、多様な葉状地衣類が回復したと考えられる。

回復してきた
葉状地衣類

東京の空氣
きれいな
気持ち

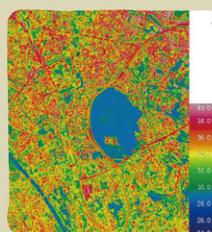
昆虫



ハネカクシ科アリヅカムシ亜科の未記載種が発見され、新たに命名記載されました。種の学名は、この場所の地名「白金」に由来し「shirokanensis」と命名された

ニセヒゲトムネトゲアリヅカムシ
Petaloscapus shirokanensis

気温の調査



暑いのは
ほんとダメで
さいやこ!!

夏の気温の調査により、自然教育園の森は周囲と比較して温度が低いことがわかった。森が生み出す冷気の発生源として、都市のヒートアイランド緩和にも有效であることがわかった。

森のクールアイランド(涼しい島)
ヘリコプターから撮影した赤外線熱画像
(2009年8月12日13時23分スカイマップ株)

図出典：三上(2013)

ヒキガエルの行動調査



- 武藏野植物園の産卵池
- 武藏野植物園の産卵池に来たヒキガエルの首段の生活場所
- その他の産卵池

ヒキガエルに発信機をつけ繁殖行動を調査した結果、別の池があるても、必ず生まれた池に戻ってきて産卵することなどがわかった。



に生まれた池の
へりべたどって
かに生えた



キアシドクガの食害でミズキ大量枯死!!

倒れるミズキに取って代わり急増する意外な樹木とは!?

2004年に始まったミズキ大量枯死事件。自然教育園においてキアシドクガが異常発生し、幼虫がミズキの葉を食害。2010年までの6年間で実に60%ものミズキが枯死した。しかしの結果、林内が明るくなり、アカメガシワ、イロハモミジ、ムクノキなどが増加したこともわかった。



右／成虫とサナギ ドクガ科に属するが成虫・幼虫とも無害。成虫は50~70mmで前足が橙黄色。5~6月毎回ミズキの上を弱々しく長時間飛び続けるのが特徴。
左／終齢幼虫

開園当時の1950年、約400本であったミズキが30年後には約1300本にまで増加。しかし2004年からのキアシドクガの大発生により60%に当たる741本が枯死。自然教育園の森の主のような巨木も100本近くあった。写真は丸坊主になったミズキ

G3ミズキ林における2002年から2009年の個体数変化

アカメガシワ 0→39本、イロハモミジ 1→130本、ムクノキ 0→310本
本来スダジイやシラカシなどの常緑樹が徐々に成長していくはずのミズキ林に、これらの落葉樹が一気に増えて生育を開始。森の中では、このような小規模な変化が至る所でモザイクのように起こっていると思われる。



アカメガシワ



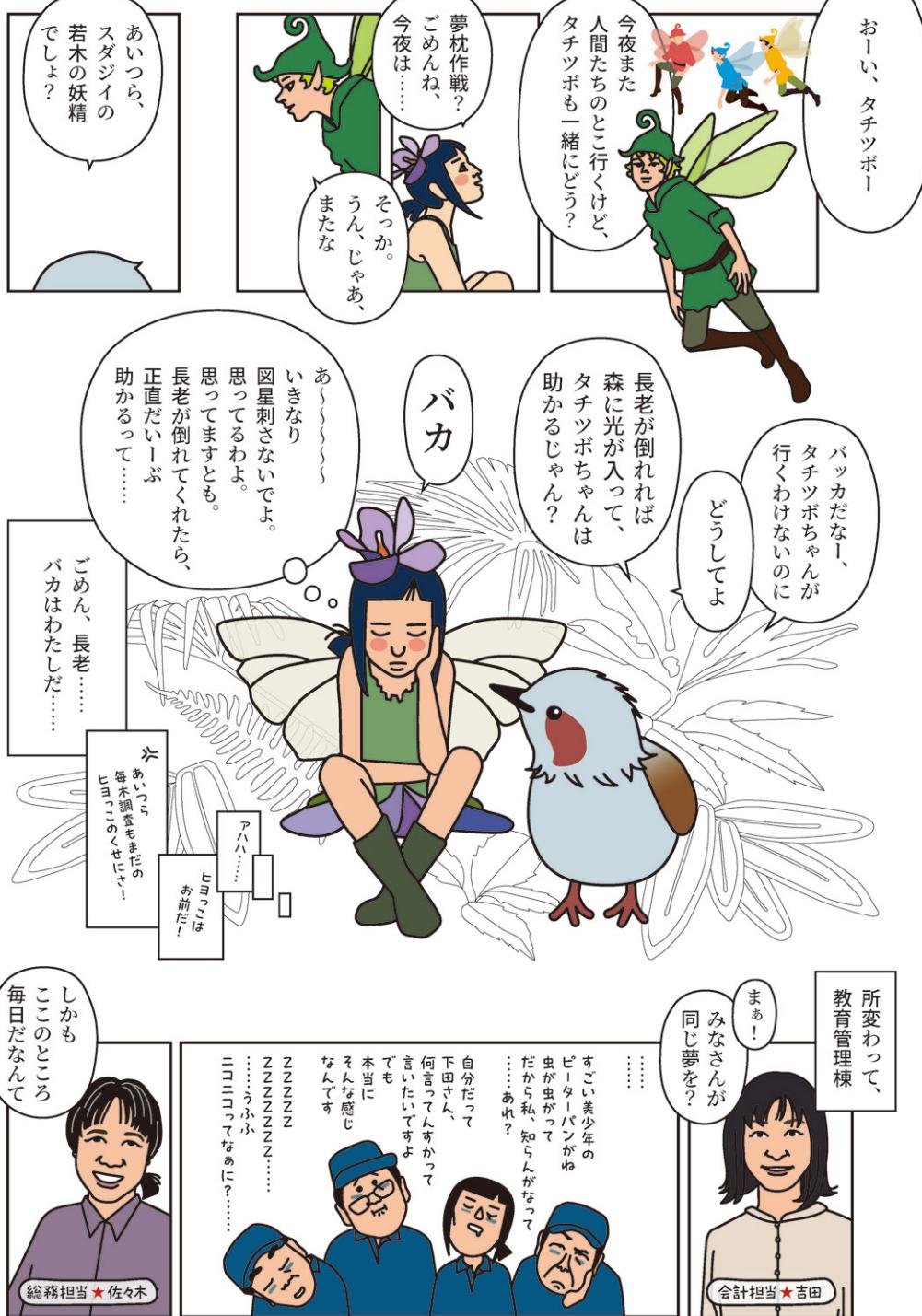
イロハモミジ



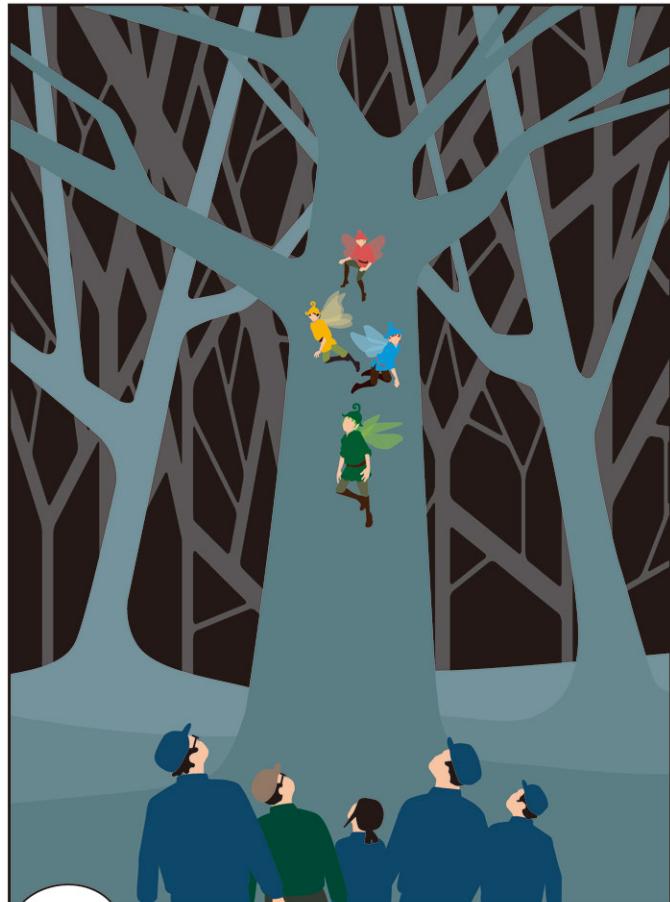
ムクノキ
成長が早く、樹高20mの大木になることもある

でもこの時も
ここの人間たちは
結局何もしなかった
ような……

自然教育園
事件簿









ここは
自然「教育園」

教育の場です

自然教育園が開園する頃の話

ここは大正、昭和初期から、

貴重な武蔵野の面影が残る森として、

注目の場所だった

戦後この森の所管を決めるに際し、
いくつかの省庁が名乗りを挙げた

地域住民や学者など、

様々な人たちが声を挙げたおかげで、
文部省の所管となつた

その結果、天然記念物に指定され
自然が保護されるとともに、

教育的活用を図る場所となつた

開園後も、道路やホテルなどの
建設計画があつたけど、
地域住民などが反対の声を上げて、
森の自然は守られたんだ

奇跡は
偶然の積み重ねによつて
起きることもあるけど、
ここではそうじやない

森が消えてしまう危機は
何度もあつたけど、
でもその度に

人々が現れた
「奇跡」なんだよ

「奇跡」を残そうとする

公開地域と

非公開地域だ

そして
自然教育園は
この森を
ふたつのエリアに
分けた
それが



「日本の植物学の父」
牧野富太郎



「東大の植物学の権威」
本田正次

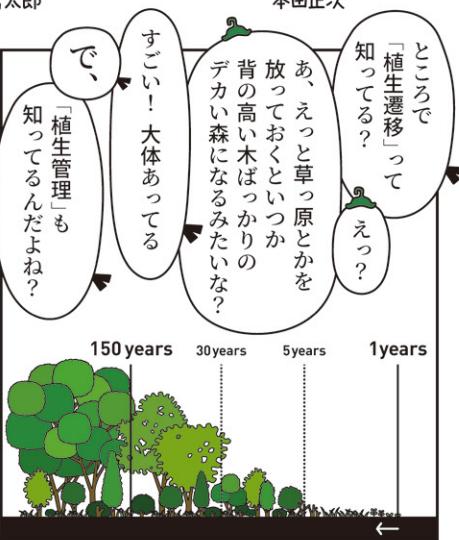
ねえ、誰に教えて
もらつたの？

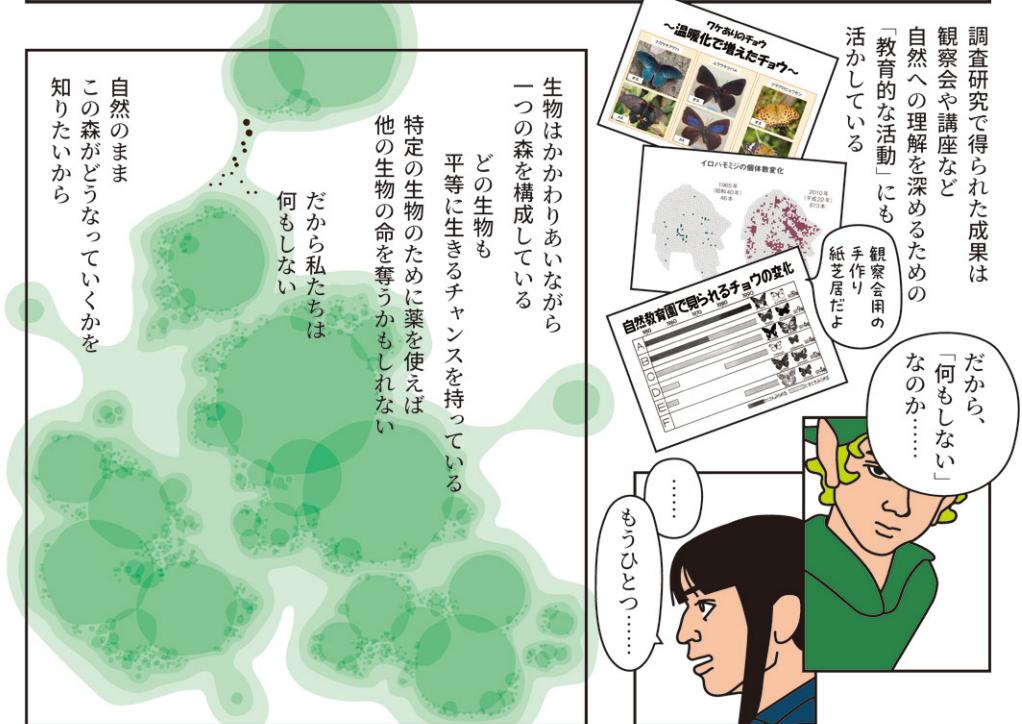
えっ？
あ、そっそう

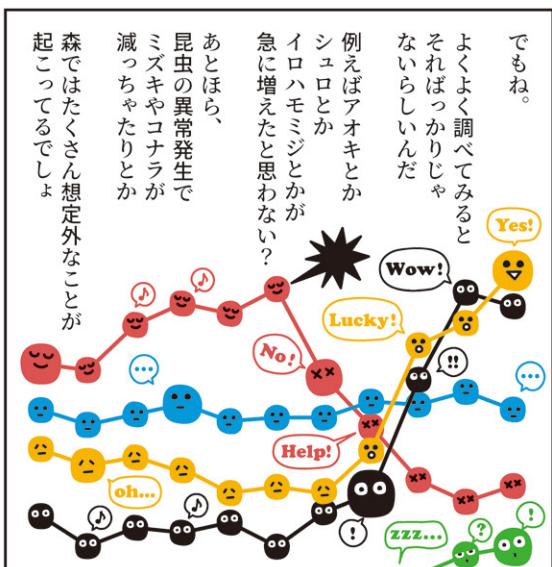
タチツボの方が
かわいいけど

「植生管理」は、
その変化し続ける植生を、
草刈りとかで一定の状態に
留めておくことね

ああ、
いろんなことに
やけに詳しい
妖精がいるんだ。
そういうえばあんたに
ちょっと似てる



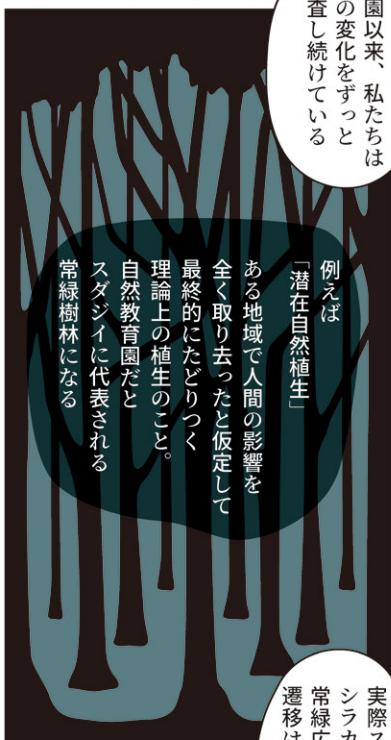




絶滅したと
考えられてたんだけど
ミズキが枯れて
林内に光が当たるようにな
ったことで、
土の中に眠っていたタネが
目を覚まして発芽したんだよ。
まるでタイムカプセルだ。
2007年、
なんと58年ぶりの再発見!



開園以来、私たちは
森の変化をずっと
調査し続けている



誰にも分からぬ

本当に、「潜在自然植生」に行き着くのか?

どんなことが起きるか
わからない
変化していく
その途中で

ええーっ!!



そういう場所は
ムクノキ、エノキ、
ケヤキンなんかの
大木が森を作るかも
しれないよ

あるある

そういえば

植生管理をせずに

自然のままでも

スダジイが

成長していい場所も

ありますよね

そつか……

うん

「想定外」が
チャンスになる
奴らもいるって
こと?

いざれにしても
私がその結果を
この目で見ることはない。
遠い遠い未来です

それでも

たくさんの人達によつて
守られてきたこの森で
私たちは、開園以来続けられてきた
「調査研究」のバトンを、
次世代に繋ぎ続けるよ

お、
叫べ!
ヒヨドリ
よし!
絶叫だ!



君たちはいいなあ。
その遠い先を見られる
チャンスがあつて



二酸化炭素濃度の調査

園内で植物が吸収する二酸化炭素の量を計測



指標種の調査

草刈りが植物に与える影響を、植物の生育状況から調査



植物季節(フェノロジー)の調査

常緑広葉樹の植物季節を長期連続的に観測



斜面における土壤侵食調査

強雨が斜面の土壤侵食に及ぼす影響を検討



キアシドクガのサイズ調査

キアシドクガのサイズを調べ、異常発生との関連を検討



胸木調査

胸高周囲長30cm以上の樹木の種名、位置、太さを記録



まだあるよ! 調査研究

調査研究の
場所として、
選ばれると
嬉しいな



この森で
こんなにたくさんの
調査研究が
行われてきたんだ!

気温及び風向・風速の調査

気温測定から、園の緑地が周辺に与える影響を検討



マヤランの訪花昆虫調査

マヤランに訪れる昆虫を設置したカメラで調査



巨木の樹齢調査

スダジイ、クロマツなどの巨木の樹齢推定を実施



カワセミ繁殖調査

カワセミの巣穴作りや子育てなどの繁殖生態を調査



ヘビ類の胃内容物調査

園内のヘビ類の生息状況と胃の内容物を調査



鳥類



哺乳類



統・生物相調査

P5で紹介した調査の他にも
様々な生物の
調査を行っています

昆虫（ガ類）



昆虫（ハチ類）



昆虫（甲虫類）



昆虫（トンボ類）



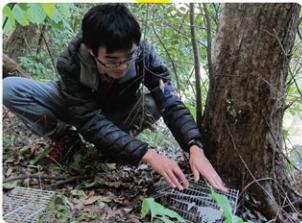
両生類・爬虫類



甲殻類



寄生蠕虫類



海綿動物、刺胞動物、触手動物



維管束植物



菌類



地衣類



微細藻類



本作は、2024年7月13日～9月16日の期間、
国立科学博物館附属自然教育園にて開催された

【企画展】自然教育園の非公開地域「植生管理は
しない……」ってなんでだよ！
の展示パネルをデータ化したものです

天然記念物及び史跡

科博 **自然教育園**



国立科学博物館